



A-PLATの活用方法




<u>A-PLATの活用方法</u>	-----	3
<u>自治体・LCCACの方向け トップページ</u>	-----	4
<u>施策の推進</u>	-----	5
<u>科学的知見の整理</u>	-----	13
<u>情報発信・普及啓発</u>	-----	18
<u>ステークホルダーとの連携</u>	-----	20
<u>その他</u>	-----	21
<u>気候変動適応センターによる技術支援一覧</u>	-----	23


A-PLATの活用方法


A-PLAT は、気候変動適応策を進めるために参考となる情報を、分かりやすく発信するための情報基盤です。気候変動影響や適応に関する知識、適応に関する国の取組、地域や事業者、個人それぞれの適応についての情報を入手できます。新任者の皆様にご覧いただきたいサイトを中心に以下紹介します。以下で示す情報は令和6年3月末現在の情報であることにご留意ください。




本文へ | [A-PLATについて](#) | [データ・資料](#) | [情報アーカイブ](#) | [お問い合わせ](#) | [JP|EN](#) | [🔍](#)

 気候変動と適応

 国の取組

 地域の適応

 事業者の適応

 個人の適応



未来 創造 適応

Climate Change Adaptation Creates Our Future

自治体・地域気候変動適応センター向け入口

自治体の方
LCCAC

自治体等が「地域の適応」を進める上で参考となる情報の入り口となるページです。地域適応計画の策定や適応策の検討などに役立つ情報・ツールが6つの目的別に紹介されています。

HOME > 自治体・地域気候変動適応センターの方

自治体・地域気候変動適応センターの方

地域の適応を進める上で参考になる情報・ツールを目的別にご紹介します。

ブル 47

と、

造を目指す

気候変動適応のあゆみ 2018-2023

気候変動適応情報プラットフォーム 特設サイト 熱中症関連情報

暑さに適応!
A-PLAT 特集

地域気候変動適応計画作成支援ツール

1. 施策の推進

2. 気候変動・適応に関する科学的知見

3. 普及啓発・動画・イベント事例、ツール

4. ステークホルダーとの連携（事業者・市民等）

5. 知識・スキルの習得

6. その他支援メニュー

(1) 気候変動適応法

✓ まずはココから

- 気候変動適応法により、国における適応策の法的位置づけが明確化され、国、地方公共団体、事業者、国民が連携・協力して適応策を推進するための法的仕組みが整備されました。

⇒[気候変動適応法](#)

✓ もっと詳しく

- 昨今の夏の暑さによる被害を鑑みて、気候変動適応の一分野である熱中症対策を強化するため、令和5年4月に気候変動適応法の一部を改正する法律が成立、令和6年4月1日全面施行されました。

⇒[改正気候変動適応法](#)

(2) 気候変動影響評価報告書

✓ まずはココから

- 農業・林業・水産業や自然生態系、健康など、各分野における気候変動影響の概要に加えて、気温や降水量などの観測結果と将来予測、影響の評価に関する今後の課題や現在の政府の取組をまとめています。

⇒[気候変動影響評価](#)

(3) 気候変動適応計画

✓ まずはココから

- 気候変動適応に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、気候変動適応法に基づき、令和3年10月22日に「気候変動適応計画」が閣議決定されました。

⇒[気候変動適応計画](#)

(4) 国の支援事業等

✓ まずはココから

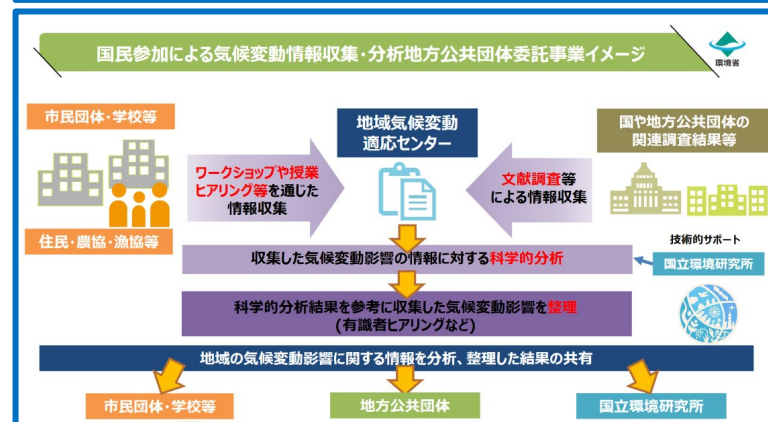
- 自らの地域で気候変動影響評価を行っている場合はその内容を確認しましょう。また、様々な地域で気候変動影響の予測の取り組みが行われています。気候変動広域協議会による気候変動適応における広域アクションプランや地域コンソーシアム事業、国民参加型事業における地域の事例を確認することができます。

- ⇒ [気候変動適応広域協議会](#)
- ⇒ [広域アクションプラン](#)
- ⇒ [地域コンソーシアム事業](#)
- ⇒ [国民参加による気候変動情報収集・分析事業](#)

✓ もっと詳しく

- 事業内容等に問い合わせがある際は適応センターにご連絡ください。

- ⇒ [お問合せフォーム](#)



(5) 地域気候変動適応計画

✓ まずはココから

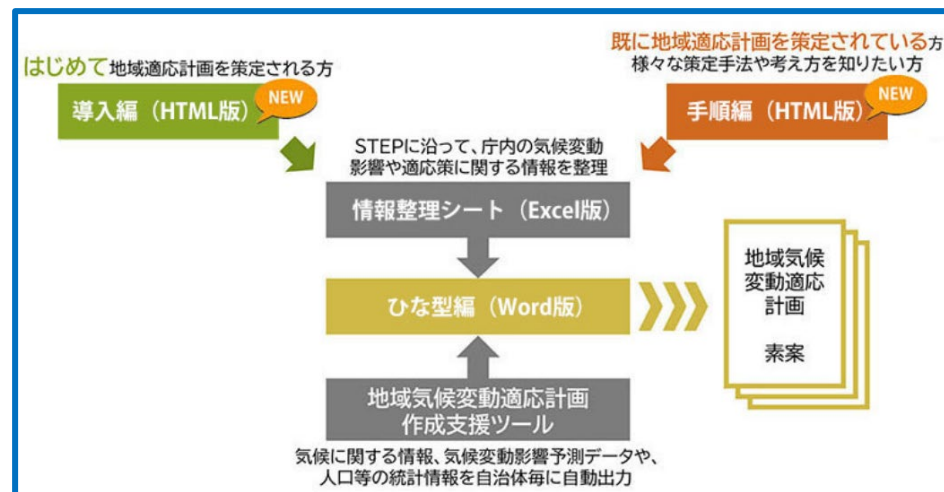
- A-PLATに掲載の「地域適応計画策定マニュアル」には、入手可能な情報を使って地域適応計画を策定・変更する標準的な手順や参考となる情報・考え方等が示されています。以下の4つに分かれていますので、これらを確認し、イメージを掴みましょう。
 - 「手順編」：適応計画策定の作業手順をまとめたもの。
 - 「導入編」：「手順編」から基本的な策定方法を抜粋し、解説を加えたもの。
 - 「ひな形編」：「手順編」や「導入編」に沿って収集した情報から地域適応計画の素案を作成するためのもの
 - 「資料集」：上記を補足する参考情報

⇒ 計画策定マニュアル

✓ もっと詳しく

- 多くの自治体で地域適応計画が策定され、公表されています。他地域の適応計画の内容や適応策について確認することができます。

⇒ 地域気候変動適応計画一覧



✓ もっと詳しく

- A-PLATでは、「地域気候変動適応計画作成支援ツール」も提供しています。ツールを実行することで、各自治体に合わせたデータ（気候に関する情報、気候変動影響予測データや、人口等の統計情報など）を「ひな形編」のWordファイルに自動出力します。適応策検討の前段となる情報収集の省力化に役立ちます。
- 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地方公共団体実行計画や環境基本計画の策定・改定に合わせて、その一部として地域気候変動適応計画を位置づけることも可能です。

⇒ [地域気候変動適応計画作成支援ツール](#)
 ⇒ [地域適応計画策定時の負担軽減ポイント](#)

地域気候変動適応計画
作成支援ツール

STEP1 都道府県・市区町村を選択してください。

STEP2 計画に含める指標を選択してください。

※グラフ・画像は選択された自治体のものに差し変わります。

+ ○○市の特徴

適応に関する基本的な考え方

+ これまで及び将来の気候変動影響と主な対策について

+ 適応策の推進

STEP3 上記で宜しければ、ダウンロードボタンを押してください。

ダウンロード

(6) 地域気候変動適応センター

✓ まずはココから

- 地域気候変動適応センターは、地域における気候変動影響及び気候変動適応に関する情報の収集、整理、分析及び提供並びに技術的助言を行う拠点です。
- 地域気候変動適応センターの運営に役立つ情報やツールが掲載されています。

⇒[地域気候変動適応センター](#)

✓ もっと詳しく

- 気候変動適応法の逐条解説は、地域気候変動適応センターの拠点に関する記載があります。

⇒[逐条解説](#)

第 13 条（地域気候変動適応センター）

⇒センターを担う拠点としては、地方環境研究所や区域の大学などをはじめとして、実情に応じて適切な組織が拠点機能を担うことが想定される。

(6) 適応策の事例


✓ まずはココから

- A-PLATの「インタビュー（適応策）」のページで地域での適応策の取り組みに関するインタビュー記事が掲載されています。記事や動画をチェックして、地域で取り組まれる適応策がどのようなものかイメージをつかみましょう。

⇒ [インタビュー（適応策）](#)

取り組み事例インタビュー

地域の担当者へのインタビューを、地域の適応計画や適応策、地域適応センターのカテゴリ別に紹介しています。

 マークがあるものは、インタビュー動画もあります。

すべて表示

適応計画

適応策

地域適応センター

✓ もっと詳しく

- また、適応策についての事例や内容を確認し、地域で必要とされる適応策、実施が想定できる適応策を検討するにあたっては、以下の資料が参考になります。

- ① 適応策の事例
- ② イラストを使って可視化した分野別適応策
- ③ 熱中症に関する様々な情報を集約
- ④ ネイチャーポジティブと気候変動適応との関係、具体的な対策等に関する情報

[国内外の適応策事例集](#)

[インフォグラフィック](#)

[熱中症関連情報](#)

[ネイチャーポジティブと気候変動適応](#)

ネイチャーポジティブと気候変動適応の関係	生態系を活用した気候変動適応策 (EbA)	EbAとNature-based Solutionなど関連する概念
気候変動適応とその他の課題とのシナジー・トレードオフ	各ネイチャーポジティブ技術の概要、留意点、期待される効果、活用事例	導入を支える社会的仕組み：認証制度等の例



(1) 新任者の基礎知識の習得

✓ まずはココから

- 始めに、A-PLATの「気候変動と適応」のページで、気候変動や緩和と適応の関係、適応のための国際的な取り組み・適応法・国立環境研究所の役割といった、全体像をつかみましょう。

⇒ 気候変動と適応

気候変動と適応
Climate Change Adaptation

世界の年平均気温
過去100年あたりで
0.76°C
上昇 ※2024年現在

緩和とは? 原因を少なく MITIGATION

緩和策の例

- 節電・省エネ (OFF button icon)
- エコカー (eco-car icon)
- 再生可能エネルギーの活用 (solar/wind icons)
- 森林を増やす (trees icon)
- 温室効果ガスをへらす (CO2 icon with downward arrow)

適応とは? 影響に備える ADAPTATION

適応策の例

- 熱中症予防 (hat, water bottle icons)
- 災害にそなえる (disaster preparedness icons)
- 水利用の工夫 (water tap icon)
- 虫さされに注意 (mosquito icon)
- 高温に強い農作物 (fruit icons)

気候変動による人間社会や自然への影響を回避するためには、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制すること（緩和）が重要です。

緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていくこと（適応）が重要です。

緩和策と適応策

上昇 ※2024年現在

科学的知見の整理

- 次に、新任者向け質問会の動画・資料を使って、気候変動適応に関する基礎的な知識を習得しましょう。質問会の案内の中に、知識習得のための動画・資料へのアクセス先があります。それらの資料を確認後、補足資料を確認しましょう。

①「気候変動及び適応の基礎知識」

②補足資料「気候変動および適応に関する基礎知識」のポイントと補足

⇒[気候変動及び適応の基礎知識](#)

⇒[「気候変動および適応に関する基礎知識」のポイントと補足](#)

⇒[自治体質問会Q&A一覧](#)

地方公共団体及び地域気候変動適応センターの新任者向け質問会

日時	● 自治体質問会Q&A一覧
場所	● Q 適応策の推進は、国、都道府県、市区町村のどのレベルでも実施すべきものと考えますが、役割分担について、お考えあるいはアドバイスがあればお聞かせください。道路や河川など、管理者がはっきりしているものであれば、誰が主体的に対応すべきものが分かりやすいですが、熱中症に関する注意喚起・普及啓発のようなものは、同一県内であれば、地域性の差異も少なく、似たり寄ったりの内容になるかと思えます。大事なことを、様々な主体が、様々な場面で訴えかけるのは重要であるのですが、見方によっては、二重に手間をかけているようになるので、同じことをやるにしても中身で差別化ができるかというのではないかと考えております。
主催	● Q (これから地域適応計画を作る予定ですが、) まず何から情報収集したらいいでしょうか。
目的	● Q ゼロ・カーボン達成に向けた諸々の調査や業務が忙しく、適応計画策定には手が回りません。組織内に専門知識を有する人材が乏しいため、対応が難しいです。

「気候変動及び適応の基礎知識」
のポイント、補足
 国立研究開発法人 国立環境研究所
 気候変動適応センター

令和4年5月20日(金)
 令和4年度気候変動適応新任者向け質問会資料

国立環境研究所
 A-PLAT CLIMATE CHANGE ADAPTATION INFORMATION PLATFORM
 cCCA Center for Climate Change Adaptation

(2)-1 気候変動影響に関する観測データの収集

✓ まずはココから

- A-PLATの「気象観測データ（気象庁提供）」のページで都道府県ごとの100年以上の気象観測データ（平均気温、降水量、真夏日、猛暑日）のグラフが掲載されています。地域の気候変動について確認してみましょう。

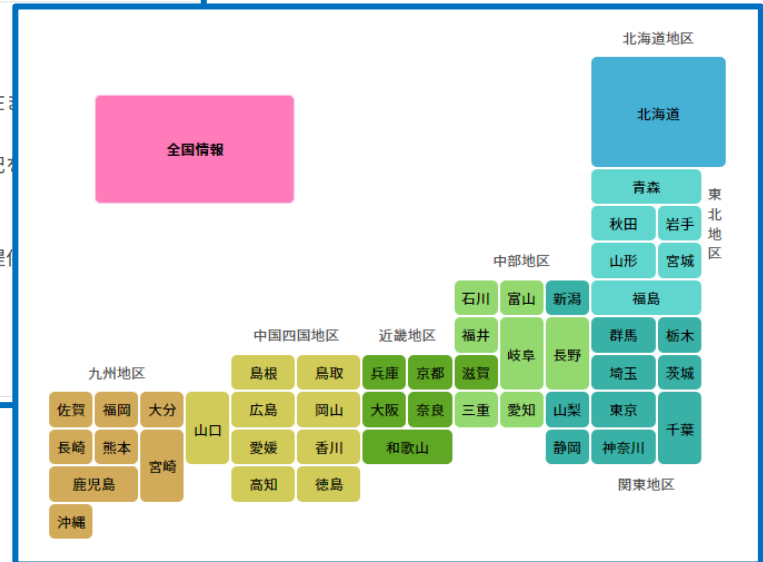
⇒ [気象観測データ（気象庁提供）](#)

これまでの気温・降水量の変化（気象庁提供グラフ画像）

■ ご利用の前に

- 気象庁が観測している気象官署の気象データのうち、平均気温・降水量・真夏日・猛暑日の過去から現在までの変化（グラフ画像）を全国および都道府県ごとに掲載しています。
- 掲載しているグラフ画像を利用される際は、[利用規約](#)をご確認ください。出典は以下例のような形で明記してください。
出典例) 気候変動適応情報プラットフォーム（A-PLAT）（気象庁作成，[掲載ページのURL]
- 気象観測の数値データについては、気候変動適応センター（CCCA）で整備・解析したものをcsv形式で提供しています。詳しくは【[気象観測統計データの提供について](#)】をご確認ください。

2023.06.21更新 2022年までの観測データがご覧いただけるようになりました。



(2)-2気候変動影響に関する予測データの収集

- A-PLATの「将来予測画像データ」のページでは、都道府県ごとの気候変動や気候変動影響についての予測結果を示すグラフとマップを確認することができます。さらに、「将来予測、影響評価に関する研究成果（WebGIS）」のページでは、これらを地図上で表示することができ、条件設定を細かく変えることも可能です。

⇒[将来予測画像データ](#)

⇒[将来予測、影響評価に関する研究成果（WebGIS）](#)

気候変動の観測・予測データ

⋮ 将来予測 画像データ

ご利用の前に

ここでは下記の研究成果に基づくデータを示しています。

- 「環境省環境研究総合推進費S-8温暖化影響評価・適応政策に関する総合的研究（2010～2014）Ⅱ」における影響評価の研究成果（S8データ）

※本サイトで提供するすべての予測結果は特定のシナリオに基づく予測であり、種々の要因により実際とは異なる現象が起こる可能性（不確実性）があります。

将来予測、影響評価に関する研究成果（WebGIS）

! ご利用になる前に必ずご一読ください

ここでは気象観測データや将来の気候予測及び気候変動影響予測の研究成果に基づくデータを示しています。

それぞれの研究成果（指標や使用している気候モデル、排出シナリオ等）については【[将来予測データ（WebGIS）の指標一覧と入手方法](#)】のページをご確認ください。

✓ **もっと詳しく**

- 関連する内容の科学的な解説

⇒ [ココが知りたい地球温暖化気候変動適応編](#)

- 過去の気象、水文・水質、水害、熱中症などの地域の観測データを、A-PLATの「各省庁の観測・統計データ入手方法手引き」のページからダウンロードすることができます。

⇒ [各省庁の観測・統計データ入手方法手引き](#)

- また、地方気象台では地域の災害履歴や気候特性など多様な情報を蓄積・発信しており、その利用が可能になっています。
- 上記以外にも以下のようなデータがあります。

- ① 地球規模／各地域の観測で得られたデータや様々な研究プロジェクトの成果
- ② GISを使ったデータ

[DIASデータ統合・解析システム](#)
[WebGISによるデータ収集・共有・発信](#)

✓ まずはココから

- 関連情報の発信にあたっては、まずは、適応センターが作成した気候変動の影響への「適応」を説明したパンフレットを印刷して配布することや、自らの組織の紹介用パンフレットを作ること、ホームページを立ち上げて関連情報を発信することが考えられます。A-PLATには、以下の関連ツールが掲載されています。

- ① 「適応」のパンフレット
- ② 紹介用パンフレットの作成
- ③ ホームページの立ち上げ

[パンフレット・普及啓発ツール](#)
[組織紹介用パンフレットの雛形](#)
[ウェブサイト開設ツール](#)

パンフレット・普及啓発ツール

気候変動の影響への「適応」を分かりやすく説明したパンフレット類や、学校等の教育現場やご家庭などでお使いいただける、気候変動や適応に関連したツールをご用意しました。啓発活動等の場でぜひご活用ください。

パンフレット



e-ラーニング



普及啓発ツール



省庁・自治体作成のパンフレット・普及啓発ツール



✓ もっと詳しく

- 受け手に合わせた情報発信としては、セミナーなどのイベントや出前事業など学生向けの取り組みが考えられます。A-PLATには、イベントなどで説明する際に活用できるスライド（PowerPointファイル）の雛形や学生向けの情報発信用の資料が掲載されています。

- ① イベントでの説明時に利用可能なスライド
- ② 学生向けの情報発信

[プレゼンテーション資料（ガイドブック、スライド集）の提供](#) [環境学習・自由研究素材一覧](#)

講演をする

地域気候変動適応センターや自治体職員の方などが、気候変動への適応についてのプレゼンテーションを行う際に活用いただける資料を提供しています。

プレゼンテーション・ガイドブック


- 地域気候変動適応センターや自治体職員の方などが、気候変動への適応についてのプレゼンテーションを行う際に参考としていただけるガイドブックです。
- 本ページで提供する2種類の「スライド集」（一般向け／自治体・企業向け）と連動しており、状況に応じたプレゼンテーションの構成例やスライド集の概要などを紹介しています。

プレゼンテーション・ガイドブック（pptx形式2.6MB）

[ダウンロード](#)

スライド集（一般向け／自治体・企業向け）

- 地域気候変動適応センターの方が、気候変動への適応についてのプレゼンテーションを行う場面を想定して、国立環境研究所が作成したスライド集です。聞き手に応じて「一般向け」と「自治体・企業向け」の2種類をご用意しています。
- 上記想定に基づく資料ですが、地域での気候変動への適応を積極的に推進することを目的に普及啓発を行う方であれば、どなたでも使用可能です。
- 本ページで提供する「プレゼンテーション・ガイドブック」を参考に、必要なページを抜粋、順番を変更、別資料と組み合わせるなどすることで、目的に応じたプレゼンテーション資料を作成することができます。

【一般向け】スライド集（pptx形式
20MB）

[ダウンロード](#)

【自治体・企業向け】スライド集（pptx
形式46MB）

[ダウンロード](#)

ステークホルダーとの連携

✓ まずはココから

- まずは、組織紹介用パンフレットやホームページを作り、そこに相談用の連絡先を記載し、相談を受けられるようにしましょう。

✓ もっと詳しく

- セミナーなどのイベントや出前授業の際は、相手にパンフレットやホームページの存在を知らせ、相談を受付けていることを伝えましょう。

⇒ 自治体による事業者支援

⇒ 普及啓発、コミュニケーション

⇒ 事業者の適応

⇒ 個人の適応



✓ まずはココから

- 適応センターには地域ごとの担当があり、様々なご相談に対応しています。まずは地域の担当者、または下記にご連絡ください。

⇒[お問合せフォーム](#)

✓ もっと詳しく

- 適応センターは、「気候変動適応に関する地域気候変動適応センター等との共同研究」を実施しています。ご関心のあるテーマ等ありましたらお問合せください。すでに複数の地域の方々が共同研究に参加されています。

⇒[気候変動適応に関する地域気候変動適応センター等との共同研究](#)



気候変動適応に関する地域気候変動適応センター等との共同研究

地域の担当者用 このページは主に官公庁・自治体職員や研究者向けの情報です。

環境研究の発展及び気候変動適応法第11条に定める地域への技術的援助の一環として、「気候変動適応に関する地域気候変動適応センター等との共同研究（以下「共同研究（適応型）」と呼ぶ）」を実施しています。御関心のあるテーマ等ございましたらお問合せください。

✓ まずはココから

- 地域で適応に取り組むにあたっては、まずは他の地域での取組事例を知り、イメージをつかむことが有効です。適応センターでは、自治体や地域適応センター同士のネットワーク構築のために、様々な試みを行っています。これらの情報を活用することが、ネットワークの構築に繋がります。

⇒ センター間の情報共有

- 地域気候変動適応センター定例会議
- 地域気候変動適応センター勉強会
- 地域の気候変動適応推進に向けた意見交換会
- 気候変動適応研修
- A-PLAT Lab

✓ もっと詳しく

- 地域で適応に取り組むにあたっては、活動費や研究費が必要になる事もあります。A-PLATに掲載されている、よくあるご質問（地域で気候変動影響や適応についての研究を行いたいのですが、どのようにしたらいいでしょうか。使える資金はありますか。）にて参考となる情報が確認できます。また、適応センターは推進費等の研究費申請のご相談も承ります。

⇒ （よくあるご質問）地域で気候変動影響や適応についての研究を行いたいのですが、どのようにしたらいいでしょうか。使える資金はありますか。

⇒ 気候変動や適応に関連する補助金等の情報

気候変動適応センター（CCCA）による技術支援一覧

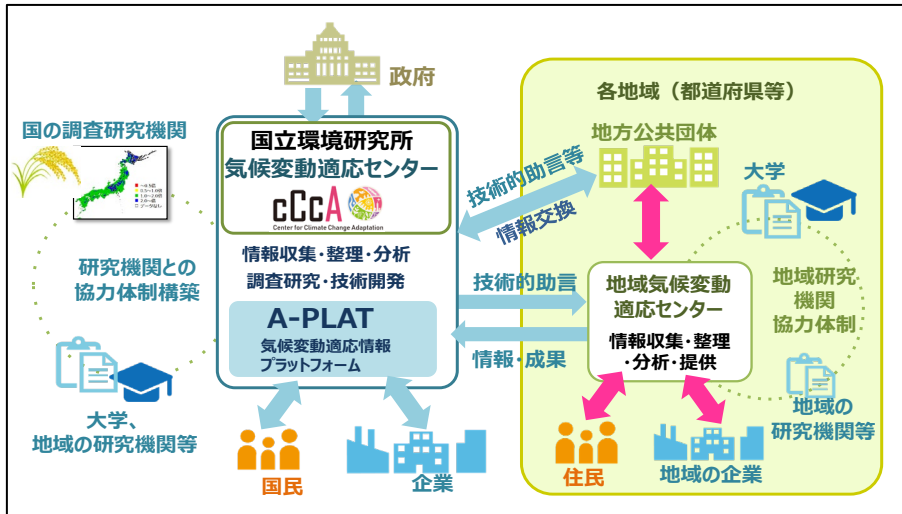
国立環境研究所気候変動適応センターでは、気候変動適応推進に関して、地域への技術的な助言や支援、情報提供を行っています。

主な支援内容は以下のとおりですが、詳細はお気軽にお問合せください。

支援項目	支援内容	事例等
1. 問合せ対応	地方公共団体・地域センター等からの問合せに対応	<ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体や地域センター等からの各種問合せへの対応 問合せに応じた技術的な助言、科学的知見・データ・関連情報等の提供等
2. 専門家派遣	各種会議・セミナーへ専門家を派遣	<ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体等が主催する講演会、シンポジウム、勉強会等への講演者の派遣及び紹介 地方公共団体等が主催する検討会、委員会等有識者会議への委員派遣 気候変動適応広域協議会へのアドバイザー等の派遣
3. A-PLATを通じた情報提供	科学的知見を活用するための資料やツールを提供	<ul style="list-style-type: none"> 国の行政機関・研究機関、地方公共団体、事業者等の適応に関する取組情報の提供 地域適応計画、適応策、地域センター関連情報の提供 観測・予測データ、調査・研究情報の提供 講演用資料、教育用資料、普及啓発ツール等の提供

気候変動適応センター（CCCA）による技術支援一覧

支援項目	支援内容	事例等
4. 研修会の開催	地方公共団体・地域センター職員向けの研修を実施	地方公共団体・地域センター職員向けの各種研修を実施（新任者向け基礎研修／地域適応計画策定の基礎を学ぶ講義及びグループワーク等からなる研修／分野別の科学的知見を学ぶ専門家の講義を中心とした研修等）
5. 意見交換会の開催	地方公共団体・地域センター間の意見交換の場を設置	地域センターやセンター設置に取り組む地方公共団体を対象とした意見交換の場を設置（関係者間での経験やノウハウの共有、ネットワーク構築を目的とした会合の実施）
6. 地域の知見の充実/共同研究の実施	地域センター等と国立環境研究所との共同研究を実施	<ul style="list-style-type: none"> 暑熱・健康、自然生態系、グリーンインフラなどを対象に地域センター等と国立環境研究所との共同研究を実施 環境省環境研究総合推進費等を活用した共同研究の実施



気候変動適応センターの機能

- ◆国内研究機関との連携等による適応研究・事業推進
- ◆関係機関・事業者・個人等との間での影響・適応等情報収集・分析・提供機能（情報基盤：A-PLAT）
- ◆地域気候変動適応センターとの連携
- ◆地方公共団体適応推進のための技術的助言や援助
- ◆人材育成やアウトリーチによる適応施策支援
- ◆アジア地域等国際的な貢献（AP-PLAT）

ご受講ありがとうございました！



A-PLAT

気候変動適応情報プラットフォーム
CLIMATE CHANGE ADAPTATION INFORMATION PLATFORM



CCCAが運営するX(旧Twitter) , Facebook, Youtube, Instagramを是非ご覧ください！
A-PLAT更新情報, 独自のコンテンツ紹介, 職員の活動内容を随時発信しています。
フォロー、いいね！などの応援を宜しくお願い致します。



[@APLAT_JP](https://twitter.com/APLAT_JP)



[@APLAT.JP](https://www.facebook.com/APLAT.JP)



[気候変動適応情報プラットフォーム A-PLAT](https://www.youtube.com/channel/UC...)



[@APLAT_JP | エープラット 国立環境研究所](https://www.instagram.com/APLAT_JP)

